

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 12 月 12 日 (2013.12.12)

【公開番号】特開 2012-99613 (P2012-99613A)

【公開日】平成 24 年 5 月 24 日 (2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2012-020

【出願番号】特願 2010-245418 (P2010-245418)

【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 R

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 10 月 25 日 (2013.10.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耐候層と、発電部材と、ポリカーボネート基材とがこの順に積層された太陽電池モジュールであって、前記発電部材と前記ポリカーボネート基材との間に熱可塑性樹脂が積層されていることを特徴とする太陽電池モジュール。

【請求項 2】

前記熱可塑性樹脂の T g が - 1 2 0 ~ 1 1 0 であり、かつ、T m が 4 5 ~ 2 5 0 であることを特徴する請求項 1 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 3】

前記熱可塑性樹脂が、ポリウレタン、ポリオレフィン及びポリエステルからなる群から選択される 1 以上であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 4】

前記熱可塑性樹脂がシランカップリング剤を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 5】

ポリカーボネート基材の厚さが 0.5 mm 以上であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 6】

前記太陽電池モジュールが、前記耐候層と前記発電部材との間、及び/または前記ポリカーボネート基材と前記熱可塑性樹脂の間にさらに封止層を有することを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 7】

前記封止層が、前記発電部材の受光面側と接して積層されることを特徴とする請求項 6 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 8】

前記封止層が、エチレン - 酢酸ビニル共重合体 (EVA) であることを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の太陽電池モジュール。

【請求項 9】

前記熱可塑性樹脂が、前記発電部材と接して積層されていることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の太陽電池モジュール。